

令和7年度 高丘小中一貫教育校 小学校入学案内



学校教育目標

高い志をもち、未来を担う子どもの育成



高丘小中一貫教育校

高丘小中一貫教育校の シンボルマーク

高丘中学校の生徒会と高丘東小学校・高丘西小学校の児童会が一つになり、令和4年度に完成しました。

このシンボルマークは、高丘の「た」、野鳥のはばたき、成長する芽、みんなの笑顔、高丘から望む明石の海をイメージしています。ホームページや学校通信等に活用し、高丘小中一貫教育校としての「一体感」を高めています。

高丘小中一貫教育校

(高丘東小学校・高丘西小学校・高丘中学校)

先進的な学習活動に取り組みます

□小学校1年生から中学校3年生まですべて30人程度学級

本来、小学校の1学級の児童数は小学校1～5年生は35人、6年生から中学校3年生までは40人と決まっています。しかし、明石市では小学校1年生30人学級、中学校1年生35人学級となるように市費を活用しています。

高丘小中一貫教育校では、よりきめ細やかな指導を行うため、小学校1年生だけでなく、中学校卒業まですべての学年において、30人程度学級を実現しています。

◆ 補足 ◆

※学級を分ける場合に、人数によっては最大で31人、32人という学級ができる場合がありますので、「30人程度」学級としています。

特別支援学級の1学級当たりの児童数は、国の基準に基づき、最大で8人となっています。特別支援学級には、特別支援学級に在籍する子どもの介助を行うために、介助員が配置されています。介助員は、その学校の特別支援学級に在籍する子どもの人数や障害の程度によって配置することになっており、毎年必ず配置されるとは限りません。なお、通常学級には、特別な配慮を要する子どもへの支援を行うために、特別支援教育指導員が配置されています。指導員は、学校規模によって、各校1名から3名の配置となっています。これらの特別支援教育に関わる学級編成や人的配置等の基準は、すべて市内の他の公立小学校と同じ基準となります。

□外国語教育

ALT(外国人英語講師)を重点配置しています。また、1年生から外国語教育を取り入れ、外国語によるコミュニケーションを主とした教育の充実を目指します。

【9年間の外国語教育】

1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学校
外国語の時間 (年間10時間程度)	外国語活動 (年間35時間)	英語 (年間70時間)	英語 (年間140時間)

□県立明石北高等学校との連携

高等学校と連携し、子どもたちがプログラミングや生物の多様性について学ぶ活動を行い、専門的な知識・技能習得への意欲を高めるとともに、幅広い知識を身につける素地を涵養します。また、小・中学校の教員が明石北高等学校の先生から理科の指導について研修を受ける機会を設け、教員の専門性も磨いています。

□自然に学ぶ環境教育

学区内には季節の花が美しく咲くたくさんの公園や多様な生き物がくらすため池があります。歴史があり、地域住民に守られてきた豊かな自然環境を舞台に、地域の方々の協力のもと、体験的な学びを通して感謝の心や地域への愛着を育てます。

義務教育9力年の一貫教育を行います

□教育課程

小学校6年間と中学校3年間を合わせた9年間を連続した教育を行います。小学校段階にあたる6年間と、中学校教育にあたる3年間、それぞれ小・中学校学習指導要領に基づいた教育を行います。学習内容や学習の進め方は明石市立小・中学校と同じです。

ただし、小中一貫教育校の強みを生かすことにより、指導に一貫性をもたせ、連続的・継続的な学びを保障します。また、発達段階における学習のつまずきを見通した指導が可能となるため、目の前の子どもたちに応じた、いっそう効果的な学習の展開が可能となります。

□教職員組織

これまでと変わらず、各学校に校長、教頭、主幹教諭、教諭等、養護教諭、事務職員、用務員が置かれます。また、3校の校長から統括校長が選任されています。

□一体的な支援

3校での情報交換を密にし、すべての教職員ですべての児童生徒を支援する体制を整えています。小学校と中学校の教職員が互いに交流して、教科等の指導にかかわったり、9年間の育ちを見通した学習活動を意図的に仕組んだりしています。本校における目指す子ども像を具現化するために、一体的な支援を行っています。

□小学校と中学校のつながりのある学習指導

小学校での習得状況を踏まえ、中学校の学習に取り組めるよう、効果的な学習指導の実現に向けて取り組んでいます。小学校では、つまずきやすい内容の指導を工夫し、中学校においても、つまずきを意識した学習指導に取り組んでいます。

□教科担任制

小学校における学級担任制から中学校での教科担任制への移行が児童生徒にとって急激な変化とならないよう、互いの校種理解に努め、小学校と中学校の指導の違いや児童生徒が実感する「段差」を極力減らすようにしています。これらの取組を通して、中1ギャップの解消を目指しています。

□異年齢・異世代との交流

小学校、中学校すべての児童生徒が参加する学校行事や、さまざまなテーマで話し合う活動を取り入れ、上の学年の存在に憧れたり、下の学年を支えたりといった学年や年齢を越えた人と人とのつながりを大切にしています。また、小学生同士の交流、地域の方や高校生も含め、幅広い異年齢・異世代の交流を大切にしています。

※義務教育学校との違いについて

今回、高丘校区に設置されるのは「併設型小中一貫教育校」です。これとよく混同されるのが、「義務教育学校」と呼ばれる学校です。

「義務教育学校」とは、小学校1年生から中学校3年生までを1～9年生とし、1人の校長のもと、ひとつの学校として9年間の教育活動を行う学校です。

それに対して、この「併設型小中一貫教育校」は各学校は今まで通り存続し、そのうえで、学校教育目標を同じくし、ひとつの目標に向けてそれぞれの学校が教育活動に取り組むというものです。高丘小中一貫教育校はこれにあたります。

アクセス

高丘中学校
 明石市大久保町高丘5丁目14
 078-918-5880
 神姫バス高丘5丁目から徒歩7分
 神姫バス中央センター前から徒歩2分

高丘西小学校
 明石市大久保町高丘7丁目23
 078-918-5735
 神姫バス高丘5丁目から徒歩5分

高丘東小学校
 明石市大久保町高丘3丁目2
 078-918-5730
 神姫バス高丘5丁目から徒歩10分
 神姫バス中央センター前から徒歩5分
 神姫バス高丘東小学校前から徒歩5分



神姫バス時刻（朝・放課後）
 ※令和6年10月1日現在

大久保駅～高丘5丁目
 7:50発～ 7:58着
 8:00発～ 8:07着
 高丘5丁目～大久保駅
 15:36発～15:55着
 15:39発～15:51着

大久保駅～中央センター前
 7:43発～ 7:57着
 7:53発～ 8:07着
 中央センター前～大久保駅
 15:40発～15:55着
 16:10発～16:30着

大久保駅～高丘東小学校前
 7:43発～ 8:01着
 7:53発～ 8:11着
 高丘東小学校前～大久保駅
 15:43発～15:55着
 16:13発～16:30着

運賃
 大人（12才以上） 260円
 小児（6才以上12才未満） 130円

通学定期（単位：円）

	大人	小児
1か月	9,360	4,680
3か月	26,680	13,340
6か月	50,540	25,270
1年	84,240	42,120
1学期	30,420	15,210
2学期	34,170	17,090
3学期	24,020	12,010

◇問合せ先◇

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号 明石市役所分庁舎4階
 明石市教育委員会事務局学校教育課 小中一貫教育 担当
 TEL 078-918-5055 FAX 078-918-5111（受付時間 平日9:00～17:00）